

北京オリンピック 記念モニュメントが完成



3月19日、霧島ヶ丘公園オリンピックロードで「北京オリンピック記念モニュメント除幕式」が行われました。これは、北京オリンピックに出場した鹿屋体育大学出身の柴田亜衣さん、高鍋絵美さん、高桑健さん、津曲勝利さんの功績を称えるものです。当日は、津曲さんを除く3人が出席し、除幕のほか感謝状の贈呈などが行われ、完成を祝いました。

「ローズクィーンかのや」 が決定



3月19日、鹿屋商工会議所で「ローズクィーンかのや選考会」が行われました。

「ローズクィーンかのや」に選ばれたのは、上之原由香さん（下祓川町）、祝由紀さん（串良町細山田）、松田和歌子さん（寿8丁目）の3人で、任期は平成23年3月までの2年間。今後、3人は鹿屋市の魅力を広くPRするために活動を行っていきます。

吾平の自然を楽しんだ ウォーキング大会



3月15日、大隅広域公園周辺で「第15回美里あいら心わくわくウォーキング大会」が開催され、市内外から約650人が参加しました。この大会は、ウォーキングを通じて心と体の健康づくりに役立ててもらおうと毎年開催しているもので、大隅広域公園周辺を巡る5kmと8kmのコースで実施。参加者は、思い思いのペースでウォーキングを楽しんでいました。

「かのやばら大使」を委嘱



3月25日、市役所で「かのやばら大使」の委嘱式が行われました。

委嘱されたのは元県民健康プラザ鹿屋医療センター院長の中尾正一郎さんと元鹿屋体育大学体育学部教授の萩裕美子さんの2人。

かのやばら大使は、かのやばら園の魅力为全国に広くPRし、鹿屋のイメージアップと観光の振興を図るために委嘱するもので、今回で9人となりました。

輝北 五穀豊じょうを願う 棒踊りを奉納



3月8日、輝北町平房で「石牟礼神社春の例祭」が開催され、棒踊りが奉納されました。

これは、五穀豊じょうを祈願する平房地区の伝統行事で、当日は、上平房、中平房、下平房の各町内会がそれぞれ特徴のある棒踊りを奉納。踊り子は、白いはちまきや赤や黄色の色鮮やかなたすきを身につけて、威勢のよいかけ声とともに、棒を打ち鳴らしていました。

串良 早期水稻の準備が始まる



3月24日、串良町細山田の川原園井堰で、早期水稻の始まりを告げる「柴かけ」が行われました。

これは、水稻づくりに欠かせない水を用水路に引きこむ作業で、明治時代から続く田植え前の伝統行事。当日は、串良町土地改良区の関係者など14人が、長さ約45mの川幅に、重さ約30kgに束ねた柴を順序良く並べていき、柴堰を完成させました。